

消防救助技術大会で全国 1 位



郡山地方広域消防本部チームが、第42回全国消防救助技術大会の「ほふく救出」競技で見事1位に輝き、郡山地方広域消防本部副管理者の冨塚市長に優勝を報告しました。大会は8月23日、広島市で開かれ、「ほふく救出」競技には全国から51チームが出場しました。

メンバーの永瀬秀明消防士長（田村消防署・写真左から2番目）、服部雅消防士長（大槻基幹分署・写真左から3番目）、木村昇平消防士（三春分署・写真左から4番目）は訓練の

成果を発揮し、2位に0.4秒差となる36秒0の好タイムをマークしました。

報告には、中舘消防長（写真右から2番目）と矢浪田村消防署長（写真右）、指導者の小原消防士長（喜久田基幹分署・写真右から3番目）が同席しました。

中野区との「絆」さらに強く



第25回田村市・中野区スポーツ交流会が8月24日、常葉体育館で開かれました。

中野区からは田中区长をはじめ40人の選手団が訪れ、9人制家庭婦人バレーボールや6人制男子バレーボール、8人制家庭婦人バレーボールで田村市チームと熱い対戦を繰り広げました。

併せて、中野区講師によるニュースポーツのパドルテニス講習会が開かれ、参加者は初体験の種目に汗を流しながら楽しく交流しました。スポーツ終了後はスカイパレスときわで懇親会が行われ、大いに盛り上がり、親睦をさらに深めました。



息の合った歌声や音色が響く



田村地区小学校音楽祭が8月28日、市文化センターで開かれました。合唱の部は船引南小、三春小、船引小、合奏の部は船引小と夏井第一小が県大会出場を決めました。

音楽祭には田村、三春、小野の3市町から合唱、合奏に各10校が出場し、積み重ねた練習の成果を披露しました。

ホールには子どもたちの息の合った歌声や音色が響き渡り、演奏が終わるたびに保護者などから惜しめない拍手が送られました。写真は芦沢小学校の皆さん。

◎合唱の部・(金賞) 船引南小、三春小、船引小、小野新町小

◎合奏の部・(金賞) 船引小、夏井第一小、三春小、(銀賞) 小野新町小、瀬川小、滝根小

仮設住宅で楽しいひととき



船引運動場応急仮設住宅で8月17日、同自治会（宗像勝男会長）が中心となった夏祭りが行われました。東京都認定のヘブンアーティストが大道芸を披露して会場を盛り上げた後、夏祭りが開始。福島県出身の演歌歌手、南礼子さんの歌謡

ショーや住民とボランティアが出場したカラオケ大会、子どもたちによるスイカ割りなどが行われました。同住宅に住んでいる方を中心に多くの市民が参加し、親交を深めました。

親子演劇教室で感動



市青少年健全育成市民会議の常葉・都路支部の合同事業が8月10日、常葉体育館で行われ、東京吉祥寺の劇団め組による「泣いた赤おに」と「走れメロス」が上演されました。約350人が鑑賞し、役者の熱演に笑ったり、涙したりしていました。

親子で今のいわきを確認



大越公民館の「のびのびチャレンジスクール」が7月20日に開かれ、いわき方面への移動教室を行いました。児童と保護者34人は、アクアマリンふくしまを見学後、津波の被害跡地を見て回り、それぞれが震災への思いを新たにしていました。

お座敷でくつろぎの旅



「大越駅友の会」主催のお座敷列車「ふるさと号」が、8月31日～9月1日に運行されました。この旅行はJR磐越東線の活性化と大越駅の利用促進を目的に毎年実施されており、ことしは群馬県伊香保方面に向かいました。参加者は、お座敷風アレンジされた列車内で自慢のカラオケやダンスなどを披露し、多いに盛り上がりました。

ものづくりの舞台を学ぶ



常葉公民館主催の寿学級の移動教室が9月2日に行われ、21人が桑折町の鞆工場とNHK福島放送局を見学しました。鞆工場では、なめした大きな牛皮からバッグが仕上がるまでの工程を学びました。NHK福島放送局では番組制作の説明を受けた後、全員が実際のスタジオに立ち、モニターに映る自分の姿を見て感激していました。